

# 赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 胡椒

新訂和漢薬 記載頁

537

基源 コショウ科コショウ *Piper nigrum* L. の果実.

部位 果実; 白胡椒〔コショウ果実の稔熟後, 摩擦洗浣して果壁の半層を除去したもの〕

作用 果実:  
無毒. 下気, 温中, 去痰, 除風冷 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目] (= 散風冷 [一本薬選]), 調五蔵, 壮腎気 [証類本草, 本草綱目], 暖腸胃 [本草綱目, 一本薬選], 除寒湿 [本草綱目].

白胡椒〔コショウ果実の稔熟後, 摩擦洗浣して果壁の半層を除去したもの〕:  
除冷, 快胸, 理気 [満洲漢薬].

応用 果実:  
宿食不消 [証類本草, 本草綱目, 一本薬選], 霍乱 [証類本草, 本草綱目, 本朝食鑑], 胃口虚冷, 気逆, 心腹冷痛 [証類本草, 本草綱目] (= 冷疝 [本朝食鑑]), 赤白下痢 [証類本草, 本草綱目] (= 泄瀉不止 [本朝食鑑]), 反胃 [本草綱目, 一本薬選], 胃寒吐水, 冷積, 牙齒浮熱, 大小便閉, 傷欬款逆, 沙石淋 [本草綱目].

白胡椒〔コショウ果実の稔熟後, 摩擦洗浣して果壁の半層を除去したもの〕:

処方 五辛寛膈湯, 椒附円〔腹痛〕, 神応散〔疝痛〕, 紅円子〔悪疽〕.

備考 別名: 古月 [和漢薬物].